

授業科目 生活援助技術Ⅴ

【担当教員名】 石橋 富美世	対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎		○	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 多様な聴覚・言語障害（者）の特性を理解し、その状況に応じた支援方法について学ぶ				
【学習目標・行動目標：SBO】 1 聴覚・言語障害（者）を理解するとともに、コミュニケーション手段、各種福祉制度等について学ぶ 2 聴覚・言語障害者の心理、配慮や支援のあり方について学ぶ 3 コミュニケーション手段の一つである「手話」実践技術を学ぶ 4 事例と障害当事者との実践交流体験から学ぶ				
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号
	全 15 回 ゲスト講師の日程、視覚教材準備や技術（手話）実践習得状況等により指導計画が一部変更・前後する場合がある。 初回オリエンテーションの後 ・多様な聴覚・言語障害（者）を理解する ・障害、コミュニケーション、各種福祉制度、歴史 ・生活を知る（文化・教育・生活・職業等各分野の状況） ・心理、ソーシャルワーク、事例を学ぶ ・手話実践技術を学ぶ ・障害当事者との交流			学習方法・学習課題 備考・担当教員
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	聴覚・言語障害者とコミュニケーション 聴覚障害者の精神保健～サポートハンドブック		新訂版：中央法規 福：聴覚障害者情報文化 センター	
	聴覚障害者への統合的アプローチ ていねいな相談活動とは		日本評価社 文理閣	
その他の資料	テキストは自作資料準備			
【評価方法】 1. 出席 2. 授業態度（学ぶ姿勢・手話実践・質問・意見等） 3. 課題提出 4. 課題レポート試験		【履修上の留意点】 これまで学んだ新介護福祉士養成講座1「人間の理解」5「コミュニケーション技術」、8「生活援助技術3」、障害者福祉施策や相談援助に関する知識・技術を再チェックしておく。		